



(第7期) 第5回まつもと子ども未来委員会の報告

令和3年7月30日

第7期の第5回まつもと子ども未来委員会を、令和3年7月18日(日)中央図書館3階視聴覚室^{しちやうかく}で行いました。この日は、43人の委員のうち、30人の委員が出席し、7人のサポーターのうち、5人のサポーターが出席しました。

1 「平和の集い」でのメッセージ発表について

依頼されている、「平和の集い」の発表に向けて、学習をしてもらいました。初めに発表してくれる人を決めました。また、グループごとに担当を決めて資料の作成をしてもらいました。

発表予定者

石田 鈴華さん	伊藤 英怜奈さん
大沢 朱夏さん	大澤 悠さん
小池 智之さん	高岡 瑞希さん
青木 萌香さん	滝沢 智貴さん

戦争による子どもの被害について (環境グループ)

食糧不足による栄養失調 教育不足 家族と離れる(難民、疎開など)

2008年には、19か国で約25万人以上の少年少女が誘拐や
強要により武器を持って「子ども兵」となっている

まとめ

人権が無視されている 世界の6人に1人が紛争などによる被害を受けている



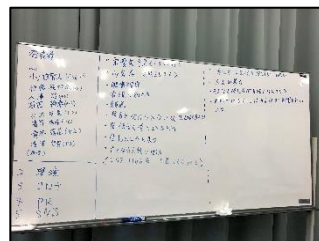
平和の実現のために必要なこと (コロナグループ)

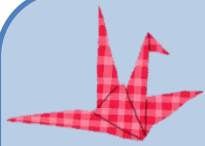
そもそも平和って何か考える

「平和」は当たり前のことではないということを認識する

今の生活を「平和」だとすると、それが崩れたときにどうなるのかを考える

平和の尊さ、大切さ、そして、戦争の怖さを知る





平和の実現に必要なこと（PRグループ）

自分たちも含め、平和のイメージや在り方をいまいちわかっていない
 自国の利益を優先しているから争いや紛争が絶えない
 道徳の授業で堅苦しく考えてしまう → 平和を考える＝面倒となってしまう
 平和そのものがざっくりしているため、考えにくいし、実生活と結びつけにくい
 全世界の人々が平和な世界を経験したことがない
 人それぞれ考え方や文化は違うのに、それを差別しあってしまう人々がいる

平和のために 自分たちができること（SNSグループ）

偏った情報に惑わされずに自分の意見を伝える、考える
 今までの全国の平和記念式典の言葉やテーマを学ぶ
 戦争の残酷さを知り、平和な現状を知り、今に感謝をする
 差別をしないで、相手を認め、相手の意見を否定しない
 「自分の平和」と「みんなの平和」を比べる 人権教育として平和を考える機会をつくる
 まとめ
 いろいろな人の意見を聞き、自分の考えを伝えることが大切



2 市内見学について

見学場所で調べたり、聞いたりしたいことについてまとめてもらいました。

【環境グループ】 クリーンセンター ・処分方法、処分の後どうなるか ・プラスチックの排出量、 ・毎日の平均、年間のごみの量 ・ごみを燃やした時の CO2 の排出量、費用	【コロナグループ】 アルピコ交通 ・利用者の増減 ・対策の上で大変なこと ・感染レベル別の対応方法 ・コロナでの変化（前との差） ・コロナが収束したら・・・
【PR グループ】 市内の井戸 ・井戸の説明 ・水源はどこか ・井戸のつくり ・成分表 ・飲み比べ ・歴史（整備の時期など） ・井戸水を使ったお店にインタビュー	【SNS グループ】 松本警察署 ・SNS 依存してしまう理由 ・SNS のいじめや不正に関わった子どもの数 → 年間でどれくらい巻き込まれているのか ・SNS を使用している子どもの人数

平和の集いでのメッセージ発表については、みんなの意見を集約して完成形に近づいてきました。
 市内見学では、各グループの見学場所も決定し、それに合わせた質問などがまとまってきました。
 あまり時間が取れなかったなので、次回は内容を詰めていきましょう。

次回委員会は、8月1日（日）午後1時30分から中央図書館で開催します。